

関西ジュニア女子初級B採点規則

(2023年5月～)



制作

関西ジュニア体操クラブ協議会

関西ジュニア初級Bクラス規定演技採点規則要項

一般規則	実施	9.50
	加点	0.50
	最大	10.00

※実施

★実施については、9.50を基礎点とし、そこから減点をする。採点にあたっては各種目の減点表を、またその項目にない個々の実施減点については、その過失の度合いに応じて減点とする。（落下等最大減点は0.5）実施減点・演技全体を通しての減点以外の一部欠点については、2022年版日本体操協会制定採点規則を適用する。

※加点

★各種目に定められた項目を満足な形で行った演技に対して最大0.5の加点を与える。

※技を全く実施しない場合などの減点

★技（構成要素）を全く実施しない場合（鉄棒・平均台・ゆか）

- ・一律各0.7の減点とする

★技を変更して実施した場合（とび箱・鉄棒）

- ・一律各0.5の減点とする

※失敗による技の繰り返しに対する減点

★規定された技（構成要素）を何度も繰り返す 各0.3

（鉄棒において、落下後演技を再開するために必要な技は除く）

※停止の減点0.3（鉄棒）

※終末技なしに対する減点

平均台・ゆかにおいて終末技の減点はしない

鉄棒においては規定された技を全く実施しない減点のみとし、終末技の減点はしない

※演技全体を通しての減点

各0.3まで

★運動が不正確

★足、脚、身体、胴体の姿勢がゆるむまたは不正確

★柔軟性に欠ける

★リズムとテンポの変化が不十分（平均台・ゆか）

★スピードや迫力に欠ける（鉄棒・平均台・ゆか）

★芸術性に欠ける（平均台・ゆか）

女子 初級Bクラス

関西ジュニア体操クラブ協議会制定による規定内容において採点を行うものとする。

とび箱

[中型6段 たて向き (100cm)]

前転とび

代表的欠点

部分	欠点	減点
第1空中局面	姿勢不良（身体の反り、または曲がり）	0.1 0.3
	// （脚の著しい曲がり）	0.1 0.3
	// （脚の著しい開き）	0.1 0.3
支持局面	腰が曲がる、または反り過ぎる	0.1 0.3
	腕を曲げる	0.1 0.3
	支持が長すぎる	0.1 0.3
	脚を著しく開く、または曲げる	0.1 0.3
第2空中局面	姿勢不良（身体の反り、または曲がり）	0.1 0.3
	// （脚の開き）	0.1 0.3
	// （脚の曲がり）	0.1 0.3
	高さ不十分	0.1 0.3 0.5
	距離不十分	0.1 0.3
着地	着地前に伸身姿勢がない	0.1 0.3
	着地姿勢が低い	0.1 0.3
全体としてスピードに欠ける		0.1 0.3 0.5

☆ 試技は、2回実施し良い方が得点とな（アップは2回まで）

☆ 助走は、最高3回までとする。（器具や跳躍板に触れなければ）

加点：最大0.5

- | | |
|---------------|-----|
| ①スピードと迫力のある跳躍 | 0.2 |
| ②姿勢欠点のない跳躍 | 0.1 |
| ③安定した着地 | 0.2 |

女子初級Bクラス規定

平均台

解 説 文

下記の要素で構成された、自由演技

- ★180度（前後/左右開脚）または左右開脚屈身のリープ、ジャンプ
- ★片足ターン1回（360°）以上のターン
- ★前方/側方のアクロバット系要素
- ★後方系のアクロバット系要素

※演技時間60秒まで（5秒以内の超過で0.1の減点、6秒以上で1.0の減点）

※着地マットの使用は自由（どちらでもよい）

※跳躍板の使用は自由（どちらでもよい）

※難度価値のない開始技を行っても0.1の減点はしない。

[配点合計 9.5]

加点	①前後開脚を伴う技の開脚が180°以上の実施
各0,1	②立ち姿勢や歩く姿勢においても手先足先までコントロールがされた常に美しい演技
【最大0,5】	③リズムとテンポの変化があり、技の前に停止や調整のないスピード感のある演技
	④アクロバット系・ダンス系の正確な実施
	⑤着地が止まる（下り）

【減点については】

その過失の度合いに応じて減点とする。（落下など最大減点は0.5）
実施減点・演技全体を通しての減点以外の一部欠点については、
2022年版日本体操協会制定採点規則を適用する。

女子初級Bクラス規定

ゆか

解 説 文

下記の要素で構成された、自由演技

- ★180度の前後/左右開脚または左右開脚屈身の跳躍技を1つ含む2つのリープまたはホップ（難度表にある）直接または間接（ランニングステップ、小さなリープ、ホップ、シャッセ、シェネターンが入った）の組み合わせ（同一技OK）
- ★片足上1回（360°）以上のターン
- ★前方/側方の空中局面を伴うアクロバット系要素
- ★後方の空中局面を伴うアクロバット系要素

※曲は自由（なくてもよい）

※フロア使用（対角線のみでもよい）

※演技時間60秒まで（5秒以内の超過で0.1の減点、6秒以上で1.0の減点）

[配点合計 9.5]

加点	①前後開脚を伴う技の開脚が180°以上の実施
各0,1	②アクロバット系要素の高さ・スピード・リズムがよい
【最大0,5】	③アクロバット系・ダンス系の技の正確な実施
	④立ち姿勢や歩く姿勢においても手先足先までコントロールがされた常に美しい演技
	⑤演技全体として印象の良い演技

その過失の度合いに応じて減点とする。（転倒など最大減点は0.5）
実施減点・演技全体を通しての減点以外の一部欠点については、
2022年版日本体操協会制定採点規則を適用する。